

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果等	今後の方向性	
信州諏訪農業協同組合	<p>【湖沼の対策】</p> <p>① ① 下諏訪「環境の日一斉清掃」参加 5月28日（日） ② 岡谷市「諏訪湖・河川一斉清掃」参加 5月28日（日） ③ 諏訪市「春の全市一斉清掃」参加 5月28日（日） ② 諏訪湖に関する学習活動に参加 ③ 手作業によるヒシ除去作業に参加 ④ 諏訪湖を綺麗にしちゃいましょう大☆作☆戦に協賛</p> <p>【流出水対策】</p> <p>① 土壌診断事業による適正施肥の推進 ② わたしの肥料による減肥の取組拡大 ③ みどりの食料システム戦略による環境負荷低減の取組み ④ 肥料・農薬等かけ流し防止 ⑤ 環境にやさしい農業への取組み ⑥ G A P への取組み</p>	<p>① 全役職員</p> <p>② 職員 ③ 職員 ④ 職員</p>	<p>① 役職員全員*が環境整備に参加（*諏訪湖周に勤務または居住）</p> <p>③ 要請に対応</p> <p>① 土壌診断事業への支援 ② 個人単位施肥設計 オリジナル肥料取扱の増加、化学肥料低減に向けた栽培試験の実施 ③ 水稻指導会による止め水管理の徹底 ④ J A 助成（水稻 レス50+カバークロープ） ・フェロモントラップの情報発信で適期防除を推進 ⑤ 指導会開催による生産者への理解促進</p>	<p>今年度同様に湖周一斉清掃等への活動は積極的に、多くの職員で参加したいと考えています。諏訪湖の再生に向けたヒシ除去作業へも参加者を拡大し、水深の保全に努めたい。また、諏訪湖に関する学習活動へも参加したいと思います。</p> <p>今後も、環境負荷軽減に向けて総合的な取組による持続可能な農業の推進を進めます。</p>	
諏訪湖漁業協同組合	<p>① 漁場環境保全対策 ・漁場環境の回復に向けたヒシ除去及び清掃活動。</p> <p>② 食害軽減対策 ・ブラックバス・ブルーギル等の外来魚及びカワアイサ・カイツブリ類・カワウによる食害対策として、外来魚駆除及び魚食性鳥類追払いを実施。</p> <p>③ IoTを用いた諏訪湖水質観測プロジェクト (Suwa Smart Society 5.0)</p>	<p>① 組合員</p> <p>② 組合員</p> <p>③ Mole's act、信大、諏訪市 他</p>	<p>① 漁場の整備 ・各船着場周辺の清掃・草刈・ヒシ除去 ・湖内流入の浮遊ゴミ・沈木除去 ・アダプトプログラムによる担当区間の清掃</p> <p>② 食害軽減対策 (1) 刺網や電気ショックによる外来魚駆除 (2) 魚食性鳥類追払い (3) 魚食性鳥類対策の検討</p> <p>③ 水質観測プロジェクト機器設置及び体制構築 ・信大とのデータ連携による検証</p>	<p>① 引続き実施していく。</p> <p>② 引続き実施していく。</p> <p>③ 引続き実施していく。</p>	
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	<p>① 他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施</p> <p>② 湖畔及び市内河川清掃（ゴミ拾い）</p> <p>③ 諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し、【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。</p> <p>④ 「諏訪湖の日」のイベント 10月1日カヤック・カヌーゴミ回収パレード</p>	<p>諏訪湖カヤック</p>	<p>湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街・学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。 ※河川管理者との連携・意識の共有を持ちたい。</p>	<p>引き続き、街中小河川である「衣之渡川・中門川」を景観と共に、漕ぎやすいフィールドの創生を具体的に河川管理者と話し合いをアピールしたい。</p>	<p>※カヤック・カヌーで利用しやすく、漕ぎやすいフィールドの創生を具体的に河川管理者と話し合いをお願いしたい。</p>

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果等	今後の方向性	
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	<p>①湖岸清掃：4月～3月（11回） ・毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 また、町による町内一斉清掃活動へも協力。（5月、10月） 【10/15の一斉清掃は悪天候のため中止】</p> <p>②水辺のごみ調査：4月～11月（5回） ・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 【6月は悪天候のため清掃のみ実施。】</p> <p>③アレチウリの除去作業：4月～9月（4回） ・湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 【6月、7月は天候不良のため中止】</p> <p>④第9回川ごみサミット in 諏訪湖の開催 全国の河川・海洋環境保全に取り組む個人や団体が集まり、情報や意見を交換するイベントを、諏訪湖浄化講演会の代替事業として、全国川ごみネットワークとともに令和5年11月18日（土）に開催。</p> <p>⑤小学生に対する環境学習 7月19日・8月11日（クリーン祭での清掃）・9月12日</p> <p>⑥諏訪湖クリーン祭の開催：8月11日（金・祝） ・各団体によるブース展示や親子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。</p>	<p>①・②・③ 下諏訪町民、湖浄連会員等</p> <p>④下諏訪南小学校6年1組、湖浄連会員、全国の環境団体等</p> <p>⑤下諏訪南小学校5年生、6年1組</p> <p>⑥下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等</p>	<p>①諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につながった。</p> <p>②諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料となった。</p> <p>③湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につながった。</p> <p>④地元小学生や全国での取組事例の発表を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会となった。</p> <p>⑤ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めてもらった。</p> <p>⑥諏訪湖とふれあうイベントとして定着しており、参加者は楽しみながら諏訪湖に親しんでいる様子であった。当日は、約250人が参加し、110kgのごみを収集。</p>	<p>引き続き諏訪湖清掃や各種行事、環境学習等を通して、諏訪湖浄化のために活動していく。</p>	<p>下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会（湖浄連）は設立から43年を迎えました。 これからの活動が、美しい諏訪湖を次の世代へ受け継がれていく礎になるように活動を進めていきます。</p>
諏訪湖クラブ	<p>①ヒシ除去作業への協力（長野県の設定時期）</p> <p>②全国一斉水質調査に参加（世界環境デー6月6日、諏訪湖・天竜川水系30地点を担当。「信州水環境マップネットワーク」による長野県内全域の水質状況マップを作成。</p> <p>③諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に参加、事務局会議に出席（2か月に1回）</p> <p>④諏訪湖浄化関連事業：ナノバブルを利用した諏訪湖の浄化実験の実施（平成29～30年度）結果を参考にして、沿岸域での水質・底質浄化計画を策定し、関係自治体、関連民間企業の協力を得て実施に向けての作業を行う。</p> <p>⑤中学生、一般向け諏訪湖読本「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」（2020年印刷済み）の続編作成とメディアとの連携による諏訪湖環境保全推進活動の実践的取り組み</p> <p>⑥理事会（毎月1回）の開催と年1回の総会開催</p>	<p>① 若干名 ② 8名＋長野県内30団体 ③ 事務局会議4名参加、諏訪湖通信編集2名 ④ 会員10名、関連自治体、民間企業</p> <p>⑤ クラブ員全員</p> <p>⑥ 理事会は毎回10～15名出席</p>	<p>① ヒシを含めて諏訪湖の水生植物の変遷について解説する諏訪湖読本の続編を作成、配布</p> <p>② 全国運営委員会に長野県代表として参加、長野県内の水質ネットを運営、約30団体により、約380地点での測定を行い、長野県水環境マップを作製する。結果は各地の環境フェアにて公開、参加者の拡大を図る。</p> <p>③ 毎回の事務局会議で推進会議の運営について意見交換し、毎月発行の「諏訪湖通信」編集に協力、諏訪湖に関する情報を紹介する</p> <p>④ 昨年度までの、湖水の上下循環システムの手法とナノバブル利用の有効性、水中カメラによる現場状況確認の有効性等の成果を基礎にして、現実の諏訪湖浄化への適用課題を整理し、諏訪湖沿岸域浄化への現実的適用案を策定、提案する。（継続）</p> <p>⑤ 2020年に完成、印刷した「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」の続編を企画、作成し広く配布し、活用を進め同時に諏訪地域のメディアと協力しての広報活動の在り方を健闘する。（継続）</p> <p>⑥ 理事会は拡大理事会として会員の参加は自由とし、会員以外の出席もあり、地域の課題等について意見交換を行い、他団体、地域自治体との協働活動への参加を進めている</p>	<p>現在の取組の中心は諏訪湖のさらなる浄化と環境保全活動への協力として公民協働による環境保全活動の推進手法の提案である。 諏訪湖創生ビジョンが掲げている「泳ぎたくなる諏訪湖」実現へ向けての具体的な提案、試行と実践的な公民協働ができることを期待している。 諏訪湖浄化が単なる湖の浄化活動ではなく、地域の環境保全を意識した諏訪地域全体のまちづくりの一環として行われることを常に念頭に置いて進めていきたい。</p>	

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ		
	活動の内容及び実施時期		参集者・連携団体	成果等		今後の方向性	
諏訪湖白鳥の会	活動日	活動内容（横河川河口）	人数	左記のとおり	白鳥飛来地の環境整備により、湖岸来訪者に良好な景観を提供し、諏訪湖への理解を深めてもらう。	継続実施	課題：会員減少と高齢化
	5.6.29	草刈り	6人				
	5.10.19	草刈り	3人（他に市4人）				
	5.12.24～	白鳥の観察、記録～6.2.下旬まで	毎朝1～2人				
NPO 法人諏訪市セーリング協会	行事計画 4月16日 協会所有クルーザー下ろし 4月26日 総会 5月～9月 ハーバー水草取り及びヨット講習会 5月～10月 ヨットハーバーポンド内ヒシ取り作業 6月～10月 マンスリーレガッタ 6月10日～11日 ソリング級東日本選手権大会 7月1日 トヨタソーシャルフェス 7月2日 水難救助訓練（花火大会事前確認含む） 7月6日～8日 諏訪湖水草取り作業（県環境課主催） 7月17日 ヨットジャンボリー 8月12日 ヒシ取り作業（諏訪湖ライオンズクラブ） 8月14日～15日 第75回諏訪湖祭湖上花火大会湖上警備 9月16日 諏訪湖浮遊物回収作業（諏訪市） 10月7日～8日 諏訪市スポーツ祭及びソリング全日本選手権大会 11月5日 クラブ対抗ヨットレース及び協会所有ヨット陸揚げ		水草取り、ヒシ取り、浮遊物回収（県及び諏訪市との連携協力） 諏訪湖ライオンズクラブ作業協力	ヨットハーバーポンド内のヒシ取り作業を計画的に実施したが、それには特殊なレーキを制作して作業を行った。機材を作ったことにより、湖底から刈り取ることができ効果的であった。（毎月定期的を実施したことによる成果も大きいと考える）	毎年、行政や団体とのヒシ取り作業に協力しているが、船舶及びエンジンの破損が多く、その都度修理費がかかる。協会の持ち出しも多く、今後の協力体制に支障をきたす恐れがある（何かしらの支援は考えられないか）	2028年国民スポーツ大会セーリング競技会場として予定しているが、県及び各構成団体の皆様のご理解とご協力をお願いいたします	
美サイクル茅野	上川アダプトプログラムに参加し、上川流域の河川清掃及び草刈り等を実施。 第1回 令和5年4月8日、第2回 令和5年7月8日、第3回 令和5年10月7日		上川アダプトプログラムに登録された市内企業、団体等	市内クリーンウォークと同時に行い、市内各所で清掃活動を行うことで、市民の美化意識の高揚に繋がっている。	有意義な活動であり継続していく。	諏訪湖及びその周辺のごみが少しでも減少し、きれいな諏訪湖にするための活動を継続していくことが必要であると思います。	
諏訪地区労働者福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖創生ビジョン推進会議を始め、ヒシ除去作業等への事業への参加・協力 ・河川愛護活動等の環境整備への協力 		加盟9団体及び加盟団体の構成団体	定期総会資料にて「諏訪湖創生ビジョン」に係る取組を紹介し、当団体としての取組方針を確認（7/19） ヒシ除去作業への参加（7/8） 諏訪湖花火大会後の諏訪湖清掃：加盟団体の連合諏訪地協を中心に8/16実施。（70名参加） 諏訪湖の日フォーラム参加（10/1） 諏訪湖創生ビジョン推進会議等の各種会議、イベントへの参加要請及び参加。 役員会にて「諏訪湖創生ビジョン」に係る取組を紹介し、活動への理解を深める。（10/10・1/30）	諏訪湖創生ビジョン推進会議等の取組みの紹介並びに活動への理解推進。 加盟団体及び加盟団体構成員に情報提供。 ヒシ除去作業、イベント等への参加者拡大。	諏訪湖の環境保全が少しでも前進していることを嬉しく思います。多くの方へもっと周知をしてください。	

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果等	今後の方向性	
(一社) 諏訪観光協会	①通年でのスイッチの取り組み ②「諏訪湖開き」安全祈願神事を4月10日(月)八剣神社にて関係者にて執り行う。 ③サマーナイト花火 7月28日(金)から8月27日(日)20時30分から約10分間で実施。(8月15日除く) ※主催:サマーナイト花火実行委員会(構成団体:諏訪湖温泉旅館組合、一般社団法人諏訪観光協会) ④第69回わかさぎ釣り安全祈願式(神事)を10月3日(火)RAKO華乃井ホテルにて関係者にて執り行う。 ⑤諏訪湖での体験プログラムに関する情報発信。	①連携:岡谷市観光協会、下諏訪観光協会、諏訪商工会議所	①スイッチについては、令和4年度にジャパンエコトラック(JET)に登録されたことを活かし、更なる拡大を目指す。認定者実績 令和3年度(初年度)477名、令和4年度903名。累計認定者数1,380名。令和5年度1月末までの認定者数815名。累計認定者数2,195名。 ③延べ開催日数30日、延べ来場者数41,500人	①諏訪湖サイクリングロードの完成を生かして継続して事業実施。課題は、諏訪湖から周辺のマチナカに向けての導線をつくり、賑わい創出につなげること。 ⑤諏訪湖サイクリングロードの完成と連動し、諏訪観光協会のホームページを通じて体験メニューに関する情報発信にも取り組む。	
建設業協会諏訪支部	・河川愛護活動(諏訪湖アダプトプログラム)の実施 令和5年6月、9月、10月 その他、会員企業によるアダプトプログラムの実施	・河川愛護活動への参加者は延べ26名	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化		
諏訪湖ライオンズクラブ	① 9月24日(日)諏訪湖ヒシ取り作業 ② 3月環境保全事業	諏訪湖ライオンズクラブ会員ならびに諏訪地域の青少年とともに参加予定	生態系への影響などが懸念される浮葉植物のヒシが諏訪湖面に大量繁茂しているため、その実を集め活用しようと挑む“NPO法人諏訪市セーリング協会”のヒシ取り活動に協力	① 3月20日(水)諏訪湖畔清掃実施。 今後も継続して諏訪湖に関する事業を取り入れていく予定。	
一般社団法人大昔調査会 曾根遺跡研究会	(1)魅力ある諏訪地域の歴史紹介・観光コンテンツ開発を主目的に「八ヶ岳～諏訪湖～知られざる大遺跡ものがたり(第一年次)」を実施。 (2)すわ大昔フォーラム」諏訪の自然・歴史・考古学関連講座等を諏訪市博物館等と共催実施。 (3)諏訪湖を舞台とする伝統芸能「人形浄瑠璃・文楽」公演を寺院ホールや学校で開催。	原村教育委員会文化財係 八ヶ岳美術館 諏訪市博物館 岡谷市照光寺 長野県諏訪清陵高校附属中学校	(1)「八ヶ岳～諏訪湖～知られざる大遺跡ものがたり(第一年次)」 原村阿久遺跡(縄文前期)の魅力や面白さを紹介するプラットホームWebページを構築し、連続セミナーや冊子作成。(原村教育委員会・八ヶ岳美術館と連携) (2)諏訪市博物館と共催する「すわ大昔フォーラム」を対面方式で復活させ、諏訪湖の自然、地域の歴史などの講座を開催。(各回30～40名が参加) ・すわ大昔フォーラム特別版として、「諏訪湖 自然環境の今～45年の定期観測から見えてきたこと～」(講師:宮原裕一信州大学教授)を諏訪市博物館主催(当会受託業務)にて10月29日に実施し、約60名の参加を得た。 (3)伝統芸能「人形浄瑠璃・文楽」のうち、八重垣姫が登場する諏訪湖ゆかりの演目「本朝二十四孝」を2公演行う(岡谷市照光寺、240名)。中学生向けに、人形浄瑠璃出張体験ワークショップを行う(長野県諏訪清陵高校附属中学校80名参加)。	(1)R6年度実施の「八ヶ岳～諏訪湖～知られざる大遺跡ものがたり(第二年次)」では、諏訪湖底・曾根遺跡と周辺遺跡群を取り上げる予定であり、諏訪湖創生プログラムとの連携を深め、ご協力を頂きたい。 (2)すわ大昔フォーラムは、引き続き継続実施する。諏訪湖関係の演題も増やしたい。 (3)「SUWA 文楽」の取り組みは3年目となりR6年度は諏訪湖畔での文楽公演開催を模索しているため、諏訪湖創生プログラムとの連携を深め、ご協力を頂きたい。	・諏訪湖の保全や市民による学習に際して、湖底「曾根遺跡」や、諏訪湖周辺の遺跡・史跡の存在を意識し、明確化したいと思っています。 ・歴史、文化系のイベントでお手伝いできることがあればご連絡ください。

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果等	今後の方向性	
株みのり建設	ヒシと周辺地域の雑草や霧ヶ峰のススキ等の刈草、牛ふんを用い、栄養分を堆肥として有効活用し、地域に還元できた。 通年：食品製造会社からの動植物性残さ、学校給食などの生ごみ、地域の草木類や牛ふんを原料にした堆肥づくり。 夏期：ヒシの受入、堆肥化	地域の子供達、農業者、環境活動参加者	有機物資源の農地還元を少しずつ出来た。 ヒシ堆肥、食品リサイクル堆肥の諏訪湖周以外への還元を進められた。	有機物資源の受入、還元量を増やしていきたい。	
一般社団法人諏訪湖ミズベリング振興協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズベリング本部会議への参加（東京） ・水辺リングフォーラム全国会議への参加（オンライン参加者募集） ・諏訪湖ミズベリング関連する研究会・講演会・先進地事例等の紹介（11月予定） ・水辺の社会実験（棧橋での社会実験8月） ・先進地域視察（4月岡崎乙川視察・9月予定） ・全国一斉の水辺で乾杯（2023）を実施 ・民間ヒシ取り（ヒシ刈り）船の運行とヒシ刈り協力6月下旬より ・諏訪湖の遊び方研究（湖上テントサウナ・ゴムボート遊び） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズベリングに興味のある方・一般参加者・事業者 他行政関係 ・サポートミズベリングプロジェクト事務局 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月15日の東京の会議には5名が参加・行政の方にもオンライン参加の呼びかけをさせて頂きました。 ・先進地視察として岡崎の乙川の視察に行ってきました。 ・諏訪市のかわまちづくりの推進会議で河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域について内容や意見を反映していただけるよう努力しました。 ・棧橋での社会実験として個人・団体の方にBQや水遊びをして頂き諏訪湖の良さを発見してもらいました。 ・諏訪湖専用ヒシ刈り船で5月から毎朝5時半から2時間早期にヒシを刈りました。2ヶ月間行いヒシは無くなりました。その成果が令和6年にどう出るのが楽しみ ・地域経済活性化のための観光振興として新イベント「湖上サウナ島」開催（サバンナ高橋・ムロツヨシ芸能人他300名利用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年は諏訪市のかわまちづくりの県への申請がどのような結果として戻ってくるのかが楽しみ。 ・諏訪湖の再生に向けヒシの除去と水深の保全に努めたい。 ・諏訪湖でのイベントと経済活性化に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖の現状と危機感の共有が必要ではないか？ ・諏訪湖の今後のビジョンが必要ではないか？ ・新ヒシ刈り・クロモ刈り船を作ります。要請お待ちしております。
長野県ローイング協会	<ul style="list-style-type: none"> ・4/16 諏訪湖ロングレース（荒天のため中止） ・5/13～14 信毎諏訪湖レガッタ（荒天のため中止約470人参加予定） ・7～8月 漕艇場周辺の水草除去及び漂流物除去（ボート部高校生、ボート関係者含め約110名で手刈り実施） ・8/11 親と子のボート教室（下諏訪町漕艇協会主催事業への協力）（26人参加） ・9/30～10/1 全国市町村交流レガッタ（26市町村111クルー 選手・随行者 935人） ・9/10 下諏訪レガッタ（選手・随行者約500人参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ①大会出場者（学校、地域住民その他） ③長野県ローイング協会 ③地元中学・高校ボート部員、地域住民など 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖ロングレース、信毎諏訪湖レガッタともに荒天のため開催できなかったが、出漕数はコロナ前に戻りつつある。 ・全国市町村交流レガッタでは、ローイング関係者以外にも楽しめるようなブースを作成し、諏訪湖付近の散策や湖上スポーツの認知へつながった。 ・ヒシや水草の除去により、腐敗による環境悪化の防止とともに、ボート等の航行への障害を排除し、湖辺面の活用に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローイング大会ではスポーツ振興や青少年育成への寄与を目指す。親と子のボート教室では、参加者が諏訪湖に親しむきっかけとなるとともに、今後の観光資源化に向けたプログラム構築を検討。 	
環境市民会議おかや	<ul style="list-style-type: none"> ①ヒシ除去体験事業 ②ヒシ除去作業への協力（諏訪湖創生ビジョン） ③ヒシ除去啓発チラシの活用 ④環境セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民 ②役員 ③事務局 ④市民 	<ul style="list-style-type: none"> ①除去による貧酸素対策だけではなく、諏訪湖の現状を知る啓発活動として実施。（7/8）参加者63人、除去量1t ③作成したヒシ除去啓発チラシを活用し、ヒシを通じて諏訪湖の現状を啓発する。 ③ ④今年度は地球温暖化をテーマとして講演を開催した（9/27） 	<ul style="list-style-type: none"> ①ヒシの除去による水質浄化だけではなく、活動をとおして諏訪湖の現状を知るきっかけとなることから、今後も活動を継続していく。 ③おかやエコフェスタなどイベント時にチラシを配布する ④市民の環境問題への啓発活動として今後も継続して開催する。 	

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果等	今後の方向性	
岡谷ライオンズクラブ	1 (諏訪湖創生ビジョン推進会議参加・ヒシ除去作業に参加 7月 諏訪湖ヨットハーバー・百景園横 初島周辺 2 諏訪湖ヒシ除去体験事業に参加 7月中旬 岡谷市湊・船着場 3 諏訪湖アダプトプログラム参加（諏訪湖清掃） 10月中旬 諏訪湖ハイツ D51前 4 環境セミナー参加① 10月下旬 諏訪建設事務所 5 諏訪湖アダプトプログラム報告会参加 2月頃 諏訪合同庁舎 6 環境セミナー② 3月頃 諏訪建設事務所 7 4LC合同アクティビティー環境保全諏訪湖清掃 3月下旬 諏訪湖ハイツ D51前 8 諏訪湖アダプトプログラム参加（諏訪湖清掃） 5月未定（日）諏訪湖ハイツ D51前	1 三役・第三副会長。環境保全委員会委員長・両副委員長・クラブ会員 2 三役・第三副会長。環境保全委員会委員長・両副委員長・委員（3名程） 3、7、8 三役・第三副会長。環境保全委員会委員長・両副委員長・委員クラブ会員・家族会員 4、6 環境保全委員会委員長・両副委員長・出席希望の環境保全委員 5 委員会・両副委員長	① 学習会によって、学校での環境活動の内容・現在諏訪湖で何が起きているのかが解かりやすく理解できる。 ② 手作業によるヒシ除去作業の体験 2 岡谷市 湊・船着場付近のヒシを手作業で除去 3 湖岸や河川の清掃 4 岡谷市環境課より連絡依頼 5 諏訪湖アダプトプログラム参加報告書の提出 6 諏訪建設事務所主催 7 湖岸や河川の清掃 8 湖岸や河川の清掃		2 ヒシ取り除去作業は、舟の淵から浄反志位・腕を投げ出してヒシを引き抜くので、脇屋上腕をすることがあつてかぶれる恐れがあるので、袖がぬれても長袖のものを着ていた方がいいと思います。
太陽工業グループ	河川愛護活動（諏訪湖アダプトプログラム）の実施 令和5年6月、9月、12月、3月 ・本業における排水処理における水質管理徹底 ・環境管理委員会による環境負荷低減活動 ・緊急事態対応訓練実施（廃油などの漏洩防止） ・社内ボート部を創部。活動を通して諏訪湖の学びにつなげる ・諏訪湖創生ビジョン推進会議、諏訪市環境委員会への参画 ・持続可能な循環型社会の実現に向けた研修を実施 ・地域学校への環境教育の実施（キャリア教育の範疇にて）	・太陽工業グループ社員 ・太陽工業株式会社経営企画部	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化（ヨットハーバー付近）年に2回（地域小学校と連携できた） ・排水設備の保全管理（異常0件/年）達成 ・毎月の経営会議でPDCA⇒MR会議にて報告（2回/年）達成 ・訓練実施（2回/年）達成 ・ヒシや水草の除去、活動から諏訪湖環境の状況を啓もう ・会議に毎回参画 ・SDGs研修（1回/年）社内では未達、社外では5本できた。 ・都度実施	引き続き活動を継続していく。実際に諏訪湖に出向いて現状を確認して、体験できる場면을意図的に多くしていきたい。	仕事の都合により会議にあまり出席できなかった。新年度は時間を作ってしっかり参画したい。

構成員名	令和5年度活動実績				構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施時期	参集者・連携団体	成果等	今後の方向性	
諏訪森林組合	諏訪湖の全流域の森林の整備 ・主伐・再造林による整備 ・間伐による整備 ・河川上流部の支障木の除去（通年）	組合職員他	・主伐・再造林による森林の若返りを計り、CO2 の削減と植林・育林に伴う森林の活性化 ・河川・中上流部の枯損木・支障木の撤去による防災・減災		
和限	・諏訪市、岡谷市、長野県ボート協会、引き上げ水草運搬、処理 ・ボランティアさん及び各団体引き上げ水草の運搬、処理 ・イベント等への参加、協力（下諏訪町ゼロカーボン展示会、全国市町村交流レガッタ） ・植林活動への参加、協力 ・災害発生地への再生協力 ・ヒシ堆肥化（諏訪湖の恵）福祉施設、地域を始め農家への提供	下諏訪町、長野県ボート協会 岡谷子どもエコクラブ エアウオーター	・トヨタソーシャルフェス（天候不良のため中止）、岡谷子どもエコクラブ、環境市民会議おかや、長野県ボート協会引き上げ水草運搬、処理 ・ボランティアさん他、協力依頼により協力します。 ・下諏訪ゼロカーボン展示会、全国ボート大会、岡谷子どもエコクラブ他参加、協力 ・大人の植樹（富士見町）ジブリの森（モリコロパーク）加子母水源（岐阜県）協力		
（株）ヤマト	諏訪湖アダプトプログラム）の実施 令和5年4月～12月	（株）ヤマト 通勤自治会	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化（（諏訪市 ^⑬ ）下諏訪町、諏訪市境～諏訪市警察署前） 毎月2回程度実施		